

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

も く じ

- ちた全域で、わがまちの「地域包括ケア」語ろう……1P
- COCキックオフ・フォーラム……2P
- 「ヨロシク♪まるだい」訪問記……2P
- インターンシップ受け入れ報告……2P
- NPO担当若手職員リレー……3P
- インフォメーション……4P

ちた全域で、わがまちの「地域包括ケア」語ろう

新年明けましておめでとうございます。

政権続行が決まり、社会保障関連をはじめ私たちの暮らしはますます厳しさを極めていきそうです。

昨年「0～100歳の地域包括ケア」を掲げ、関係者の協議の場づくりを中心とした取り組みを進めて参りましたが、再度知多地域で円卓会議を開催します。地縁域の円卓会議を行った東浦町、半田市のほか、大府市、東海市、知多市、常滑市、武豊町、美浜町のNPO、行政、社協等関係者に現状と今後を語っていただきます。みなさまもぜひご参加いただき、わがまちの取り組みについてご報告いただき、情報共有を通して地域包括ケアの推進力を得ていただきたいと思います。

本年もこのまちづくりビジョンに沿ってまい進して参りますので、どうぞよろしく願いいたします。(岡本)

1月30日(金)13:30～16:30
日本福祉大学半田キャンパス
〇-1〇〇歳の地域包括ケア
知多地域円卓会議

東浦町に引き続き、半田市円卓会議が12月15日で3回全てを終了した。地域包括ケアのまちづくりに欠かせない買い物支援(食)、在宅支援(医療)、次世代育成(共育)の3つのテーマを立て、住民主体の連携体制づくりについて、メンバー3～4人が入れ替わりつつ協議し、オブザーバー含め延べ60人の参加があった。

岩滑区の人口は6,492人、高齢化率23.6%、後期高齢化率11.8%と半田市内でも高齢化が進む地域だが、介護認定率は市内3番目の低さを誇る。

円卓会議では、コンビニやドラッグストア、NPOなどで日常の見守りが行われているものの、困難事案に気

づいた時の対応や情報共有のしくみがなく、この足を踏んでいることが共有された。

一方で、岩滑お助け隊(地縁内互助活動組織)が、最終回、NPO法人りんりん下村理事長が、地域で子育てする大人の責任と役割を踏まえ、縁を結いなおす機会として、1月5日りんごクラブ主催の炊き出しを告知、参加を呼びかけた。

「福祉のまち総理大臣賞を岩滑区が獲得する！」を実現するために、個人情報や区でどう取り扱うのか？認知症になったときや最期の迎え方について、家族や周囲の理解をどう進めるのか？孤立した子育てが人間関係を狭め、多様な価値観に抵抗を持つ親や子が増えている中で、支援者以外の大人と子どもの接点をどう作るのか？の3つの課題が大きな宿題として残った。

改めて公的機関の支援と並行して、住民同士の伴走支援が必要なことが明確になった。雑多な日常での「おはよう」「ありがとう」「おかえり」など、住民の声かけからできることは大きい。

同じ市町でも学区等によって地域性がそれぞれ異なるため、地域実情に精通し気軽な相談窓口として、柔軟な対応ができる常設の地域拠点が必要である。岩滑では、NPO法人りんりんが「地域包括ケア推進のランチ機能」を果たしているといえよう。

サポートちたの会員団体も、各々の市町ごとに同様の機能が期待されている。「困った時はおたがいさま」の実践で培った人と人のつながりづくり、場づくりが今こそ生きる時である。(市野)



■日本福祉大COCキックオフ・フォーラム



千頭教授と登壇者のトークセッション

12月13日、日本福祉大学でCOC「地(知)の拠点整備事業」開始のイベントが行われた。これは、大学等が地域再生・活性化の拠点となることを目的とした文部科学省の助成事業で、同大学では学生を地域課題に主体的に取り組む「ふくし・

マイスター」として育成すると共に、社会貢献事業の一環として市民研究員制度を創設していく。

地域連携推進機構長の千頭聡教授が事業紹介の後、NPOや行政等登壇者と共に、サービスマーケティングや地域円卓会議等、学生が地域と関わったこれまでの取り組みについてトークセッションを行った。

同日、サービスマーケティングの報告会も行われ、サポートちたで活動した学生たちも東浦町の住民アンケート・ヒアリング調査、円卓会議への参加を通してその成果を報告した。今年度は、福祉分野を超えて半田市観光協会、はんだまちづくりひろば等にも依頼することができ、「ふだんのくらしのしあわせ」を支える人材育成として新たな展開が期待される。(竹内美)

■“ヨロシク♪まるだい”訪問記



地域ささえあいセンター “ヨロシク♪まるだい”

12月8日に、認定NPO法人ぐるーぷ藤(鷺尾公子理事長)を、NPO代表6人で訪問した。3人の参加者に研修報告を寄稿してもらった。(岡本)

NPO法人あかり

代表理事 西村広美

発足以来23年の変わらぬ姿勢と運営方針、今後のビジョンについて解りやすく説明をいただきました。レストランOHANAのランチは、知的障害のある女性とJOBコーチ兼コーディネーターとして働くスタッフの思いを感じる野菜たっぷりのメニューでした。一番館の建物内も見学することができ、入居者や利用者の生活の質を重視したコーディネートと設備へのこだわりが見られました。来年度の制度改正を考えて立ち上げた『地域ささえあいセンター ヨロシク♪まるだい』は、地域の人が安心して歩いて来られる場所にありました。一個600円の会津塗りのお茶碗を使用したおむすびと汁物セットは、300円という金額で提供されており、生活事情の厳しい方への配慮が感じられました。

ぬ姿勢と運営方針、今後のビジョンについて解りやすく説明をいただきました。レストランOHANAのランチは、知的障害のある女性とJOBコーチ兼コーディネーターとして働くスタッフの思いを感じる野菜たっぷりのメニューでした。一番館の建物内も見学することができ、入居者や利用者の生活の質を重視したコーディネートと設備へのこだわりが見られました。来年度の制度改正を考えて立ち上げた『地域ささえあいセンター ヨロシク♪まるだい』は、地域の人が安心して歩いて来られる場所にありました。一個600円の会津塗りのお茶碗を使用したおむすびと汁物セットは、300円という金額で提供されており、生活事情の厳しい方への配慮が感じられました。

NPO法人ゆいの会 代表理事 下村一美

「見せる場所を作ると人は集まるの」と鷺尾さんが言われるようにたくさんの方がここに集まり、スタッフも人手不足とは無縁とのこと。理念を伝えながら人材育成に力を入れています。「ヨロシク♪まるだい」は誰でも利用できる交流スペースとしてミニデイや日替わりのイベントが開かれ、相談窓口では食事を提供するスタッフが生活支援コーディネーターを務め、世間話をしながら井戸端会議的に気軽に相談できる環境づくりをしていました。このような地域ささえあいセンターを身近に造れたらと夢は膨らんでいます。

NPO法人あゆみ 理事長 中井美恵子

今回リーダー研修に参加して一番印象に残ったのは何といてもぐるーぷ藤の理事長、鷺尾公子さんです。目的と理念をしっかりと持って、会の先頭に立って生きる姿勢はとても魅力的でした。

- ・働く人はそれぞれの働き方で会に参加し、会は又、働く人の環境を適切に整える。
 - ・委員会組織で会を運営し、常に学び合い、互いに資質を高めている。
 - ・自分たちの活動は藤沢のまちづくりなのだという意識をしっかりとっている。
- あらためて自分たちの会の足元を見つめるよい機会となりました。

■インターンシップ受け入れ報告

今年度は名古屋短期大学1年6名、大府市職員2名、愛知県職員採用2年目8名、計16名を受け入れた。NPO基礎知識および知多地域ネットワーク構築の経緯、NPO現場数カ所を訪問や介護現場を丸ごと一日体験した。事業の打合せ等へ同席するなど事務局として幅広く体験した感想を行政職員のみ抜粋して報告する。(市野)

①福祉子ども部福祉課高齢者支援室 兼任大輔



机上の知識ではなく、実際の現場を知ること、知識を得ることが本人及び家族との協働を築いていく事であると思う。さらに知り合えた方と対話を繰り返すことも協働となるでしょう。

②水道部下水道課庶務係 平松雅也



効率化を求められているがサービスを受ける市民が、納得いくまで時間をかけて議論・説明をすることも大事だと思う。持ち時間のマネジメントを適切に行える職員に自分になることで大府市の利益になると考える。

①農林水産部農林政策課人事グループ 宮田瞬



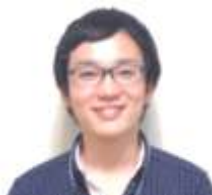
これまで知らなかった世界を知ること、新たな発想を生む重要なプロセスになると実感した。私自身これから自分の足で稼ぐ職員を目指し、様々な人とのつながりを自ら生み出していこうと思う。

②西三河県税事務所徴収課滞納整理G 伊藤守



祖母の介護を見たことはあったが、現場で体験したことで介護の大変さや困難さを知ることができたように思う。なりたい職員像が見つかった。職務や自己啓発で足りない知識や能力を身に付けたい。

③水質試験所生物管理グループ 伊藤禎基



現場の状況や環境、業務内容など様々なことに対して知見を深めることができた。今後はいろいろな方たちに水を飲んでいただいているという意識を強く持って業務に励みたい。

④衛生研究所衛生化学部医薬食品研究室 梅村優子



NPOの方の「行政はボランティアの代表」「協力して安心して暮らしたい」この二言が忘れられない。一緒に、同じ目線で、という思いはあるが“ボランティア”（非営利）として行政も同じ土俵に立っているのだと言われ改めて協働について実感した。

⑤西三河県税事務所課税第二課

不動産取得税第一グループ 溝口順也



“行政にしかできないことであれば行政が責任を持っておこなう”、“地域の中で解決できることであれば行政に頼らず地域で解決していく”といった棲み分け（見極め）も重要だと感じた。

⑥愛知学園教務支援・第一グループ 中嶋裕紀



地域には素晴らしい力や資源があり、それらを活かしていくことと、もっと必要なことにお金をかけていくことを県政に訴えていくこと。自分が幸せを感じていなければ周りの人に幸せを与えることはできないと思っている。

⑦西三河水道事務所建設課 内山裕貴



大まかに同じ業務内容であれば一緒にの団体としてやっていけばいいと思っていたが、経営方針の違い等また、そこで働く人の思いが強いからこそ厳しい経営でも続けられるのだと感じた。もっと知ることによって自分に係わる団体が見つかり、自分の業務に活かせると思う。

⑧企業庁愛知用水水道事務所 原宏太



施設の方とふれ合いその場の雰囲気、温かさに感動した。手伝いをすると必ず「ありがとう」の言葉をかけてもらい自然と笑顔になる。疑問と感じていた、NPOの方が何をもち「やりがい」としてしているのかが分かったように思う。

NPO担当若手職員リレー

東海市総務部市民協働課
主事補 榊原真梨子さん



出身地京都では地域の祭りに積極的に参加し、縁あって東海市役所に入庁、地域づくり、人と人との繋がりがづくりに関わりたいと語る。これまで関わりのなかった分野だが、入庁2年目の今、協働の必要性や地域とつながることの大切さが理解できるようになったという。

今年7月の「市町村アカデミー」では、全国の市町村から協働やコミュニティの担当課職員が集まり、各地の事例発表やグループワークを含めた研修会が約1週間行われた。全国で協働のまちづくりに尽力している職員に、たくさんの刺激を受けた。この研修会を通じて、淡々とこなしていた仕事、なぜ必要で何のための仕事なのかを理解でき、仕事に対する姿勢が変わるきっかけとなった。協働への理解が深まった今、新規採用職員向けの、住民と行政の協働を学ぶ研修が、どのような内容の研修であると協働に対する理解が深まり、職員にとってより協働を進めていく動機付けになるのかを考えるようになった。今後、長く働きたいという理由からワークライフバランスと、なるべく多くの人が良い雰囲気の中で過ごせる環境をつくっていけるような協調性を大事にしていきたいと語った。（新保）

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

■成年後見サポーター研修講座 @東海市

認知症の高齢者、また知的障害や精神障害で判断能力が不十分な方々の権利や財産を守るための成年後見制度。制度の普及、啓発のための講座へぜひご参加ください。
〈日時〉1月16日(金)～2月20日(金) 毎週金曜日(全6回)
13時半～16時
〈会場〉東海市立勤労センター第1研修室
※2月6日(金)のみ視聴覚室
〈定員〉30名(先着順)
〈受講料〉1,000円(全6回分資料代)
〈申込問合せ〉(N)知多地域成年後見センター
☎0562-39-2663

■NPO法人あかり講演会「避難弱者」

～福島原発事故間近の老人ホームで何が起きたのか～

放射線が飛び交う中、自らの危険を顧みず老人に寄り添った介護士たちの奮闘と葛藤を克明に描き出した感動のルポルタージュの作家にお話をお聞きます。
〈日時〉1月18日(日) 10時～12時
〈会場〉波の音こども園ホール(街かどサロンきらり隣)
〈参加費〉無料
〈問合せ〉(N)あかり ☎0569-35-4185

■医療・介護『統合』経営戦略 &『人財経営』の秘訣 大公開セミナー

医療・介護事業者3割減時代の到来を迎え撃ち、生育発展する企業として勝ち残るための人財育成、経営戦略を大公開！
〈日時〉1月22日(木)13時～17時半(12:30受付開始)
〈会場〉名古屋市中小企業振興館(吹上ホール)
7階メインホール
〈主催〉あいおいニッセイ同和損害保険株
〈対象〉医療・介護事業及び周辺企業の経営者、経営幹部
〈定員〉先着250名(1社2名まで) ※定員になり次第締め切り
〈参加費〉一人2,000円
〈申込問合せ〉(有)セントラルオフィス(森岡)
☎052-791-4390、FAX052-252-5366

■新CSR検定3級 直前公式勉強会

企業が真の社会的責任を果たすため、不祥事を起こさない強い組織をつくるために全ての社会人がCSRの基礎知識を理解することが必要です。大学生を始めCSRに関心のある全ての方を対象に、皆様のご参加をお待ちしています！
〈日時・会場〉 各回19時～20時半
第1回 1月27日(火) ウィンクあいち12階 1209室
第2回 2月6日(金) 名古屋国際センター3階 第一研修室
第3回 2月27日(金) ウィンクあいち12階 1209室
〈参加費〉各回3,000円(学生2,000円)
※公式テキストは別途1,500円(税込)
3回連続申し込みの場合は8,000円(学生5,000円)
〈申込問合せ〉(N)パートナーシップ・サポートセンター
☎052-762-0401

■ソーシャルプランナー育成支援講座療育コース

「社会のしくみを知る」ということから療育に係る背景、制度、支援の知識とスキル運営からマネジメントまで広く学びます。
〈日時〉4/13、27、5/11、25、6/8、22、7/6、27、8/17、31、9/14、28、10/5 各回10時～14時
〈会場〉(N)あつとわん 事務局内
〈受講料〉78,000円(税込)
〈申込問合せ〉(N)あつとわん ☎0568-92-5481
<http://npo-atone.jimdo.com>

■介護職員初任者研修受講生募集 @大府市

〈日時〉平成27年1月21日(水)～3月17日(火)
〈会場〉ネットワーク大府 研修室
〈受講料〉65,000円(税別)
〈申込問合せ〉(N)ネットワーク大府 ☎0562-44-3735

*・☆.. * . ☆: * . *: . ° .. ☆.. * ° ☆: * . : .. ☆;
新会員紹介 ☆ご入会ありがとうございます☆

【準会員/団体】 一般社団法人サポートネットゆっか 様

【準会員/個人】 板持周治 様 (島根県雲南市)

*・☆.. * . ☆: * . *: . ° .. ☆.. * ° ☆: * . : .. ☆;

NPO現場見学ツアー 第138弾 2月24日(火)



～NPO・行政・地縁の連携～
見学先①知多地域成年後見センター
②南粕谷ハウス
③プレマクラブ
開始9:30～帰着16:00
参加費 5,200円 (担当:新保)



特定非営利活動法人
CFSC 地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1
知多市市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631
Fax 0562 (33) 1743